



Manuia 祝 20周年記念号！

第15号会報発行に当たって

皆さんと共に歩んで

今年度も皆様方のご協力のお蔭で無事に会報を発行することが出来ました。心よりお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり平成26年度当OB会は設立20周年を迎えました。このため今回の会報には役員総力を挙げて取り組んだ周年事業であるサモア大使館との合同による設立20周年記念レセプション開催、日本とサモアの架け橋をモチーフにしたOGデザインのオリジナル記念Tシャツ作成、そして写真コンテストの受賞作品等をベースとしたオリジナル卓上カレンダー作成、それに加えサモア史上初となる水泳隊員を含めた壮行会や記念Tシャツをまとったチームサモアが大活躍をしたグローバルフェスタ等の通

常事業。さらには先日離任されたレイアタウア大使についての思い出も急遽追加し、例年以上の話題満載な内容になっています。

そしてこの活動の陰にはいつもサポートして下さるOB・OGの方々、学生や一般の方々のご協力があること、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

今回20周年記念号となりますが、これが新たな出発点となりサモアの「輪」が次世代に引き継がれ、次の30年記念、40年記念と続いていくことを強く願う次第です。幸い若い方々が協力をしてくれるのできつと実現するでしょう。そして今以上の大きな成果が期待出来るのではないかと思います。継続は力です。今後ともに皆様方のご支援・ご協力をお願いする次第です。宜しく願います。

功勞者への感謝状授与（右から大使、ヒデさん、徳山元会長）



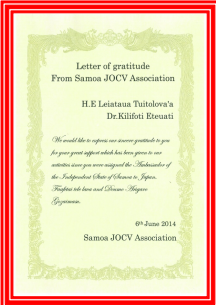
【大塚一雄 昭和63年度3次隊（SE）】



大使（中央）とJICAボランティア

サモアOB会設立20周年及びサモア独立52周年記念レセプション

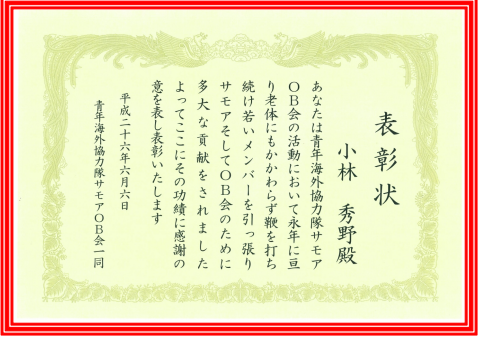
平成26年6月6日、サモアOB会設立20周年記念及びサモア独立52周年記念レセプションがホテルサンルート有明で開催されました。当日は、家を出ると、荒れ狂った風、土砂降りの雨、傘は役に立たず、ズボンはグチョグチョ。この時点で、サモアならば、レアンガ、ティム、マロロ。と言って、フアレにいろはずだ、乾杯の掛け声“マヌイア！”をした。レセプション会場に向かいました。レセプションかなりきちんとしたものでした。すみません(。・。・)目。悔っていました。サモア感覚で短パン・セエバイで行かなくて本当に良かったです。レイアタウア大使、金杉外務省アジア大洋州局審議官、サモアOB会 大塚会長による爽快なスピーチ後に、皆で乾杯のマヌイア！目標達成です。その後、サモアにかかわりのある方々と暫しの会談です。とても良い雰囲気では進行しました。サモアン・シバサモアン・テイネ（ガールズ）によるシバを18年ぶりに生で見ました。帰国後、サモアのことを思い出すとネットで検索しては、シバを見ていました。実際に見ると、やはり躍動感があつて心に響きます。ここは日本ではありませんが、サモアの雰囲気を感じた瞬間でした。



の雰囲気を感じた瞬間でした。踊ってくれたテイ

ネ、本当に感謝です。マローラバ。残念ながら、タマ（ボーイズ）たちは、仕事の都合上、集まる事ができませんでした。次回は期待したいです！そしてサモアに貢献して下さった方への表彰として初代徳山会長、二代目山崎会長、そしてマザー・オブ・サモアこと元パシフィックインターナショナルの小林秀野さんへ表彰状と感謝の言葉がありました。そしてレイアタウア大使への感謝状贈呈がありました。個人的に、日本にいるとサモアは遠く離れた存在だけど、身近に感じることが出来る良いレセプションでした。また南の時間を感じたい時には参加させていたただきたいと思います。今回のレセプションに携わった方々、本当にお疲れ様でした。そして、素敵なサモアンTシャツを最後に頂きまして本当にありがとうございます。

【石橋 一実 平成6年度3次隊（無線通信機）】



上：OB会による乾杯の音頭、中：大使への感謝状
下：ヒデさん（サモアの母）への感謝状

パシフィックナイトレセプション

さわやかな夏の夕刻、7月23日、サモアOB会の大塚会長より、電話をいただき、サモア大使館、レイアタウア大使から案内状をいただいていた、レセプションへ、急用の為、参加できないので、代理参加を依頼されました。そこで、急遽参加することとなりました。



左から影山さん、大石夫人、大使

当該イベントは、平成26年7月25日（金曜）午後7時から渋谷の、ニュージールランド大使館大使公邸で行われました。レセプションの冒頭、NZシンクレア大使の挨拶のあと、サモアのレイアタウア大使がスピーチをされ、南太平洋における友好と経済発展の連携の活動についてお話をされ、今後の共同活動の方針と会場の参加諸国間の友好促進の大切さを話されました。イベントでは、サモア・トンガ・クック諸島・そしてマオ

リのパフォーマンスなどが行われ、熱気こもる壮大なショーが繰り広げられました。またゲストとしてアフリカ諸国の大使も大勢参加され、国際色豊かで、友好的な交流の場となりました。



左から影山さん、ゾマホンペナン共和国大使

会場では、お互いが、それぞれの国の立場から、経済、文化、などを語り合い、友好的かつ貴重な情報交換の場を持つことが出来ました。JICAのボランティアによる現地の技術活動については、アフリカ諸国の大使から、感謝の言葉をいただきました。今後は一國同士の付き合いでなく、南太平洋諸国、アフリカ諸国が知恵を出し合い、グローバルな発展が望ましいということが実感できました。

【影山 洵 平成9年SV（業務調整）】

グローバルフェスタ2014

【10月4日(土)】
国民的アイドルAKB48の「ただいまからグローバルフェスタ2014を開催します」という高らかな呼び声とともにスタート。台風の来襲が危ぶまれたが、初日は雨に降られることもなく、1日中曇りのまま天気は持ちこたえた。晴れなくともむしろラッキーだったとも言える。パンケケは揚げたてで熱いので、やや曇って肌寒いほうが売れ行きがいいのだ。ボランティアの方々の多大なる協力により、パンケケは爆発的に売れた。その後の打ち上げでも大いに盛り上がり、ボランティア大学生自らで「チームサモア」のLINEを立ち上げた。

今年のグローバルフェスタ2014はこの歌のごとく、熱く幕を開いた。

Tama Samoa歌詞より>
Ia po uliuli lou tino
Ae malamalama ou mata
Tama Samoa, se ia tafe toto lou ala

そう心は真っ暗闇、
でも目先は明るく、
サモアのおのこたちよ、
おのが道に熱き血潮を燃やせよ
【翻訳/沢井慶太】

【澤井 慶太 平成6年度2次隊 (音楽)】

【10月5日(日)】
ついに台風の影響により朝から雨模様。しかも時折激しく降りしきる中、それでも多くのボランティアが集まった。開始間もなく、「12時をもって2日目のフェスタを終了する」というアナウンスが告げられる。せっかくこれだけの顔ぶれが集まったのだ。午前中のわずか2時間という限られた時間の中、雨に濡れ、パンケケ作りに汗を流し、結束を固めつつ貴重な時間を過ごせた。半日という短いひとときであったが、皆で協力しあつて一つになるという喜びがあった。また、協力して頂いた方々へは惜しみなく感謝の意を表します。これは言葉では語り尽くせません。本当にお疲れ様でした。



記念Tシャツで一致団結したチームサモアの面々

サモアOB会20周年イベントを振り返り

平成26年度はサモアOB会が設立されて20年目という節目の年でした。

当OB会も毎年、会報の発行やグローバルフェスタへの出展、隊員壮行会など定期的にイベントを行なってきましたが、役員会でも「節目となる今年は何か記念事業となる企画をやろう」という話になり、これまで約1年かけて様々な企画を検討・実現してきました。

6月6日に行われたサモア大使館との共同レセプションでは、52回目の独立記念日を祝うだけでなく、これまでのOB会活動を振り返ってOB会活動へ貢献いただいた方々へ表彰を行いました。また、レセプション参加者全員にOB会作成のオリジナルTシャツも配布しました。このTシャツ作成にあたっては上嶋岡香さん(H18-3・美術)によるデザイン協力もあり、皆さんからも非常に好評で、企画に携わった身としては嬉しい限りでした。また、これまでにない初めての試みとして、OB会オリジナルカレンダーの作成と20周年記念誌にもチャレンジしました。

カレンダーは、過去のコンテストで応募のあった数多くの写真の中から、隊員OBの心をくすぐるような懐かしいものを激選し、初めてにしては上出来のものができたと考えております。

今回はOB会の年会費を納入いただいた方に無料でお配りしましたが、予想以上に人気だったので、来年は希望者に対して追加購入できるように多めに準備できればと思っています。お楽しみに！(カレンダーに使えるよい写真があればぜひOB会まで送付ください！)

また、20周年記念企画の集大成として、皆さんにもご協力いただいた原稿をもとに、特別記念誌の作成を現在進めています。

この記念誌を通してサモアで共に時間を過ごした懐かしいメンバーの近況を知り、交流・再会するきっかけになればOB会としても本望です。

20年という時を経て、ようやく成人を迎えたサモアOB会ですが、これからもOBの皆様ならびにサモア関係者のご協力をいただきながら、意義のある活動を続けていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

【木村 竜輔 平成21年度2次隊 (理数科教師)】



上嶋OGがデザインしたオリジナル記念Tシャツ

サモア大使館表敬訪問

サモア大使が感謝

【H26年度1次隊】

先日、平成26年6月20日(金)に、サモア大使館にて、大使と参事官、そして6月末にサモアに派遣予定のJOCV隊員との間で昼食会が行われました。隊員の方々は駒ヶ根での研修を終えたばかりにも関わらず、5人もの隊員が訪問してくれました。大使は以前に、今回サモアに派遣される隊員の名前と派遣先が書かれたリストを見て、派遣先の半数がサバイイ島であること、そして今回の隊員が皆小学校や高校に教師として赴任することにとっても驚いておりました。大使は、隊員がサバイイやウボルの地方の村々で生活しながら村の子供達に2年にも渡って教えてくれることは、子供たちの将来、つまりサモアの将来にとって、とてもプラスになると考えておられるようでした。



平成26年度1次隊の面々、中央(大使)、右隣(ラプチャー参事官)

会は、皆で昼食を取りながら終始穏やかな雰囲気が進み、大使から積極的に、隊員一人一人に、趣味や、どんなスポーツをするのかなど、とても興味深そうに質問していました。また、サモ

アは日本の人にあまり知られていないはずなのに、サモアをどうして選んだのか？という大使からの質問に、一人の隊員よりサモアを第一志望として選んだという答えが返ってくると、大使とそして参事官も驚き、そしてとても嬉しそうでした。

会はその後、隊員からの質問タイムに移り、サモア語の覚え方等のアドバイスがほしいなどのリクエストがありました。大使からは、サモア語のプリント等を見せ、サモア語は日本語と発音が似ていて覚えやすいから大丈夫と説明するなど、隊員達の質問や疑問にとっても親身に対応していました。

その後大使は、あんなに若い日本の隊員が、サモアにボランティアとして赴任してくれるとは！と、とても喜んでおられました。最後になりましたが、大使館スタッフ一同、新隊員の皆様には、まず、何より健康で、そして充実したサモアライフを送ってほしいと心から願っています。

【H26年度3次隊】

平成27年1月6日(火)に、サモア大使館にて、今月にサモアに派遣予定のJOCV隊員との間で昼食会が行われました。隊員の方々は出国前の忙しい中にも関わらず、4人もの新隊員が訪問してくださいました。残念ながら、大使の突然の体調不良、及び参事官が休暇中のため、大使秘書の松本そして古澤のみの対応となってしまいました。



平成26年度3次隊の面々、右端(松本さん)、左端(古澤さん)

遠方からわざわざお越しいただいた隊員の方々に改めましてお詫び申し上げます。大使は、今年の12月末に新隊員リストが届くと、皆に是非お会いして激励したいと申し添えましたので、今回新隊員の皆様にお会いできないことをとても悔やんでおりました。大使・参事官のいない昼食会でしたので、渡航前に気になっている事など、今実際に渡航前に悩まれている事が会の中心的な話題でした。また、サモアの地図が大使館に何部かありましたのでお配りして、各赴任先の村の場所やアクセス等、そのほかに観光スポット、主要な空港、港等の場所等もお伝えしました。

また、会の最後にサモア語の簡単な挨拶リストもお渡しし、最初の挨拶に使う「Eloalo」と お礼の際の「Efa, afealo」だけでも先に覚えておくと現地の人とのコミュニケーションに役立つかもと簡単なアドバイスもさせて頂きました。最後にりましたが、大使館スタッフ一同、新隊員の皆様には、まず、何より健康で、そして充実したサモアライフを送ってほしいと心から願っています。

【古澤直子 サモア独立国大使館(スタッフ)】

新隊員サモアの洗礼受ける



新隊員壮行会

10人も の隊員が

【H26年度1次隊壮行会】

平成26年6月29日、新宿に於いて新隊員壮行会が行われました。今回は何と、JOCV10名の大所帯。10名以上の隊次は久々。H9-3次隊以来ではないでしょうか？今回はそのうち5名が参加。

今回の隊次は学校隊員が多く、参加者5名全員が学校隊員でした。サモアOBもいっぱい参加して、サモア話に花が咲き、楽しく飲んできました。新隊員の皆さんは結束が固く、みな元気で活発そうでした。みなで協力してサモアでは非素晴らしい成果をあげてきてください。

今回は私の数年に一度の行事である、サモア訪問の時期でした。ちょうど新隊員に4日遅れてサモアに到着。たまたま新隊員の忘れ物をサモアに届けるこ



平成26年度1次隊の面々(中央3名)、周りは心優しいOB・OG

となり、意外なところで役に立ってよかった。現地では、新隊員歓迎会への招待を受けて、参加してきました。皆さんサモア語の習得に苦しみながらも、元気に頑張っているようでした。

また2年後に楽しく飲んだくれることを楽しみにしております。新隊員の皆さん、元気で頑張ってくださいね！

【H26年度3次隊壮行会】

平成27年1月12日、新宿に於いて新隊員壮行会が行われました。今回はJOCV4名で、そのうち3名が参加。私の隊次と比べると、20年もの開きがあるというのが驚きです。我が隊次の訓練中に阪神大震災や地下鉄サリン事件が起きて訓練所で大騒ぎになったのを思い出しました。時が経つのは早いものですね。今回は何と、元サモアPI

のヒデさんが参加(現メルボルン在住)。また、ヒデさんに会いたくて駆けつけた古参隊員もおり、久々に再会を果たしたようです。今回は多分サモア初の水泳隊員の派遣。サモア人がプールで競泳をするようになったのでしょうか。我々の時代とは大きく変わったのでしょうか。

何と水泳隊員派遣



平成26年度3次隊の面々、さて水泳隊員は何処に？

今回は現JICA職員でもある辻OBから、水難事故等に十分気を付けるように、とのお話がありました。辻OBも隊員時代には水難事故になりかけたことがあるそうで、新隊員の皆さんには気を付けて欲しい、とのことでした。サモアでも十分起こりうることなので、気を付けて下さい。

2年後に新隊員の皆さんが元気に帰国し、また会えることを楽しみにしております。

一度サモア人の泳ぎ見てみたいですね。パワフルなんなので、しょうねYouTubeで観ないかな!!

OB会紹介

当サモアOB会はJOCA公認の正式なOB会として運営しております。現在、青年海外協力隊の国別OB会は20余国に上りますが、設立した当初は大洋州で最初に発足したOB会でした。これまで平成6年(1994年)の発足から20年強、隊員OB有志によって運営されており、現在では青年海外協力隊OB・OG、シニアボランティア、専門家、JICA及びJOCV関係者など、500名を超える方々で構成しています。OB会の具体的な活動内容は、メーリングリストによる情報発信や年一度の会報発行をはじめ、グローバルフェスタでの出展・パンケケ販売、新隊員壮行会や帰国隊員との親睦会開催、駐日サモア大使館と連携したサモアの広報やイベント開催など、幅広い活動を行っています。

OB運営ボランティア募集

当OB会では、サモアに対する想いや経験を共有しながら、共に活動を盛り上げてくれるメンバーを大募集中です！

昨今、OB会の活動やイベントに参加してくれる人も固定化してきており、運営メンバー側にも新しい発想や経験・想いを持った人材が必要になっています。とは言え、堅苦しいことは一切なく、サモアらしいゆる〜い感じで運営していますので、サモアを懐かしく思うことが少しでもあれば、ぜひ一緒に参加してみませんか？まずは軽い気持ちで顔を出してもらっただけでも構いません。

OB会の活動に対する積極的なご意見やアイデア、提案などもお待ちしております！

現地ボランティア紹介

氏名： 駒橋 冨季
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： PCインストラクター
 配属先： Uesiliana college



Maio
 平成26年1
 次隊PCインストラ
 クターの駒橋冨季
 です。私はサバ
 イ島サツパイテイ
 アにあるウエシリ
 アナカレッジで、
 子どもたちにコン
 ピュータを教えて
 います。

サモアに来て早
 くも半年が経って
 しまいました。ずつ
 と夏だど時が経った実感がなかな
 かなか湧かないものです。赴任翌
 日に同僚教師が異動になり、急に
 「授業をしろ」と無茶振りされて
 からというものの、ひたすらサモア
 の憎たらしくも可愛い生徒たちと
 向き合ってきた。拙いサモア
 語を使えば爆笑され、教師と生徒
 が逆転してサモア語の授業になる
 こともしばしばありました。パソ
 コンにログインする操作を教える
 だけで数時間を費やしたこともあ
 りました。テストをすれば、答え
 よりもジーザスを描くことに集中
 してしまう子もいました。道のり
 は長いです。それでも空は青いし、
 海は広いし、犬は吠えるし、豚は
 逃げ回ります。今日もサモアは平
 和です。そんな感じで、良い具合
 にゆるゆると、残りの期間も活動
 していきたいと思えます。

氏名： 藤原 岬
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 小学校教育
 配属先： サレアウラ小学校



私の配属先、サレアウラは、
 伝統文化の色濃く残る「ザ・
 サモア」なサバパイ島の北部
 に位置した小さな村です。サ
 モアという国を、協力隊の合
 格通知で初めて知った私です
 が、日ごとにサモアの魅力を
 知り、村での人間関係もでき
 てきて、毎日楽しく過ごして
 います。

学校では、高学年の算数と
 理科を担当していますが、子
 どもたちのちんぷんかんぷん
 な発言や、先生方ののんびり
 過ぎる様子に度肝を抜かれる
 こともしばしば。最近では、
 そんな場面でも驚きや戸惑い
 より、笑いが出るようになり、
 サモアに馴染んできたかなと
 感じていきます(笑)そんな
 中、子どもたちの問題が解け
 た時の笑顔や、実験に取り組
 むきらきとした
 瞳に元気をもら
 いながら、頑張っ
 ています。子ども
 もたちが学ぶ喜
 びを、先生たち
 が教える喜びを
 感じてくれたら
 いいな、と思っ
 ています。

氏名： 田島 和歌子
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 理科教育
 配属先： Itu 0 Tane college



んこ
 には。
 ち。に
 現在
 サバ
 イ島
 北部
 に
 位置
 する

イツ・オ・タネ中高等学校で理科
 教員として派遣されております。
 配属先は200人程度の生徒で構
 成されており、昨年はその中の九
 年生と十一年生の理科を担当しま
 した。私の配属校は、サモアの中
 では比較的理科の実験道具や薬品
 が揃っているため、九年生には生
 物の細胞培養の実験を、十一年生
 には化学の金属イオンの炎色反応
 実験などを行いました。来年度は
 現地の先生にも実験の手法等を教
 えていければと考えています。

現在生活している住居は、学校
 から徒歩三十分ほどの、目の前に
 美しい海が広がるサモアらしい場
 所に位置しています。平日には美
 しい海を横目にランニングやウォー
 キングをし、週末や学期休みには、
 家の前の海で泳いだり魚を釣った
 りと、充実した生活を送っており
 ます。残りの一年半もサモアの人
 と一緒に楽しく活動していきたい
 と思えます。



氏名： 根本 千尋
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 美術
 配属先： ファレフィットウ小学校

私は協力隊に応募する以前から、旅行パンフレットに載っているようなエメラルドグリーンの海を一目見てみたいと思っていました。そのことから、私がサモアで最も印象深く感じているのは、碧く透き通った美しい海です。美術教師として任地に派遣された後も、ビーチで見た海の碧さが頭から離れません。子供たちの描く絵を見ても必要以上に海に注目するようになりました。しかしながら生徒たちは、絵の具を混ぜて新しい色を作り出す授業に、わざわざサモアにある海の色を取り入れて教え込んだにも関わらず、海の絵に原色の青をべた塗りするという暴挙によって報いてきます。

したがって目下私の活動目標は、生徒が海の絵に現実には即したエメラルドグリーンを塗るように洗脳を押し進めることです。まじめな活動としては神奈川ビエンナーレに子供たちの絵を送り、今後はアートマイルプロジェクトというNGO企画に参加します。

氏名： 江草 正基
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 小学校教育
 配属先： サオルアファタ小学校



ヴァイリマをこよなく愛する小学校教育員の江草正基です。どんなシチュエーションで飲むビールが旨いか語りたところですが、少し本筋からそれてしまいそうなので我慢します。活動する小学校はピウラケイヴプールのすぐ近くに位置する、全校生徒がわずか100人ほどの小さな学校です。要請科目である理科や算数のほか体育の指導も行っています。赴任して半年ですが、試行錯誤しながら日々楽しんでおります。

サモア人はよく「サイナ！」と呼んできますが、たまに初見で「ジャパニーズ？」と言ってくれる人がいます。そういった人たちは、ほぼ決まって日本と何らかの関わりがある人たちです。彼らは日本の良さを褒めたたえてくれます。食事に誘われ、家を訪れてみると、テレビは大体パナソニックですね。料理にはキッチンマンソイソースを使っていますね。これは、あくまでも私の経験に基づくものなので、今後さらさらサモア人との友好を深め、この見解が正しいかどうか確かめていきます。

氏名： 酒井 謙吉
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 小学校教育
 配属先： レウルモエガ小学校



サモアに来て驚いたことは、誰もが気さくに声をかけてくることです。また、ことあるごとに行われる踊り、老若男女問わず、リズムよく踊るのには感心させられます。バスに乗ったら、席を譲る、年配の人を尊重する、家の手伝いをするなど、私が子どもの頃に育った環境とよく似ています。小学校では、算数と理科を中心に教えていますが、教材が少ない中、子どもたちへの「イメージのもとせ方」を日々考えていますが、日本の恵まれた環境にも気づかされます。

先日ある人から、「日本は長い間サモアを助けてくれていたからとても感謝している。」と言われました。多くの協力隊OB・OGの方が築かれた信頼関係の一端知ることができました。私も少しでもサモアの教育、子どもたちの力になれるよう、日々活動していきます。

氏名： 松浦 伸哉
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 小学校教育
 配属先： サレラバル小学校



タロフア
 ラバ！私はサ
 バイ島、サ
 レログアの隣
 村にある、サ
 レラバル小学
 校で活動して
 います。Ye
 ar 6 & 7 の
 算数と理科を
 教えています。
 サモアの子ど
 も達はパワフ
 ルな野生児ばかりで、授業を
 するのも一苦労ですが、勉強
 が楽しいと思えるように試行
 錯誤の日々です。学校が終わ
 ると、生徒の家に突撃し、凶々
 しく一緒にお茶を飲んだり、
 ご飯をもらったりすることが
 楽しみです。一人暮らしをし
 ていますが、料理は全くせず、
 毎日仲良いサモア人のお宅へ、
 ご飯を食べに通っています。
 サモア人と一緒にご飯を食べ
 て、笑って、寝て、教会に行っ
 て、村の生活にどっぷりと浸
 かってる生活は、まさに自
 分が想い描いた青年海外協力
 隊のイメージそのものです。
 残りの1年半を大切に、大
 好きなの村、そしてサモア
 のために少しでも何か出来た
 らなと思います。

氏名： 池下 昌弘
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 小学校教育
 配属先： イバ小学校



早いものでサモアに来てか
 ら半年が経ちました。サバ
 イ島の中心地サレログアから
 バスで北に約十五分のところ
 にあるイバ小学校で、7・8
 年生に算数と理科を指導して
 います。算数では、子どもた
 ちの計算力向上のため、計算
 練習に取り組んでいます。理
 科では、今まで活用されてい
 なかったサイエンスキットを
 使い、少しでも多く実験を取
 り入れたいと心がけています。
 先生方や子どもたちにサモア
 語を教えてもらいながら、日々
 活動しています。
 サモア人の家にホームステイ
 しています。家族と一緒にご
 飯を食べたり、テレビを見た
 り、家の子どもたちと遊んだ
 りしながら生活しています。
 周りを見れば、ココナツと
 バナナとパパ
 イヤの木、そ
 してイヌとニ
 ワトリと明る
 いサモア人。
 サモア人のよ
 うに大らかに
 笑いながらこ
 こでの生活を
 楽しんでいま
 たらと思いま
 す。

氏名： 渡邊 国権
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 小学校教育
 配属先： アフェガ小学校



Maio!!
 サモアに来て
 約半年、日焼
 けと体重増加
 の防止が目下
 の課題です。
 まだ半年です
 が、この国に
 魅かれています
 自分がいいます。
 1つ目は“な
 んでも共有す
 る文化”です。
 貸したペンが
 返ってこない
 ことはともか
 く、日本の都
 心部が失って
 しまった“おすそわけの文化”が
 色濃く残っています。2つ目はな
 んといつてもきれいな海です。真っ
 青な海でなにも考えずただ泳いだ
 り、シュノーケルを楽しんだりす
 る時間はとても幸せな時間です。
 これからもっとたくさんさんのサモア
 の魅力に気付かされることでしょ
 う。配属先の小学校では、算数と
 理科を教えています。サモアの先
 生や子ども達との交流のなかで、
 なにか1つでも自分のいた軌跡を
 残せたらいいな、と思っています。
 2年後、肌の色やお腹回りではな
 い部分で成長して帰国できるよう
 日々精進していきたいと思えます。



氏名： 氏原 英敏
 隊次： 平成26年度1次隊
 職種： 理科教育
 配属先： Sagaga college

サモアにやってきて半年が経ちました。いかにも南国といった雰囲気を持つこの国の生活は、私にとつとでもユニークでいまだに驚かされることが多くあります。私は理科教育隊員としてアピアの西方に位置するSagaga collegeに赴任しています。海に面しており、海風の心地よい場所で活動をおこなっています。サモアの子どもたちは人懐っこく、授業をしていても、一緒に昼食を食べていても、放課後にバレーボールをしていても、そのあとに袋アイスを食べていても楽しそうに笑顔で話しかけてくれます。子どもと一緒に祈りをしている瞬間や、座りて来るあてもないバスを待っているときには日本がいつのまにか失ってしまったであろう文化や時間が感じることができません。サモアはゆっくりりと時間が流れていきます。最後までサモアの子どもたちと頑張りたいと思います。

氏名： 湊 直
 隊次： 平成26年度2次隊
 職種： コミュニティ開発
 配属先： Women in Business Development Inc.



こんにちは。私の職場はアピアの街中にあるNGOで、ココナッツオイルやフェタウオイル、石鹸、ドライバナナ、有機野菜・果物、ココサモア、フアインマツトと、いろいろな物を販売しています。私の仕事は主にデータベースの打込み作業で、打込むものが無い日は石鹸の包装をしたり、ドライバナナを作ったり、注文も受けて個人配達している有機野菜・果物の仕分けをしたりと、割と自由になっています。サモアで大きなカンファレンスがある時には、果物やサンドウィッチのケータリングの注文を受けることもあります。他の隊員から「サモアじゃない」と言われる程しつかりした職場で、特に大きな問題も有りませんが、顧客の大半がパラング（外国人）なので、外から来た私だからできることを探して、活動していきたいと思っています。

平成26年度会計報告

本年度も皆様からの会費のご支援、それに加え周年記念のご寄付ありがとうございました。周年事業として記念Tシャツやカレンダー作成、そして通常の会報作成などの活動に有効に資金が使えたかと思っております。

【S63-3 SE 大塚一雄】

		単位：円	
収入	金額	支出	金額
会費	226,155	通信費	101,698
事業収入	4,000	事業費	468,267
助成金	135,920	JOCA会費	30,000
寄付金	105,000	雑費	40,154
	0		0
小計	471,075	小計	640,119
前年度繰越	1,066,209	次年度繰越	897,165
合計	1,537,284	合計	1,537,284

※事業費には周年事業が含まれています。

平成27年度活動予定紹介

平成27年度、周年事業の記念誌の発行が残っておりますが、例年の事業をベースに活動をしていきたいと考えております。ただカレンダーについては非常に評判が良かったこともあり、引き続き年会費納入の方へ無料配布をと考えております。サモアを盛り上げるような良いアイデアがあれば是非お寄せ下さい。

- ・協力隊まつり参加
- ・記念誌作成（周年事業）
- ・カレンダー作成（2016年版）
- ・壮行会開催
- ・グローバルフェスタ参加
- ・会報作成

さらば レイアタウア大使



有楽町ガード下大使行きつけの店での送別会後

大使と初めてお会いしたのは2009年洞爺湖サミットの来日の際です。今は亡きパシフィックインターナショナルの故大石さんにお声かけいただき次期駐日サモア大使としてご紹介を頂きました。そしてその年の夏頃に日本へ大使として赴任されたと記憶しています。そしてその年の秋にサモアが津波で甚大な被害を受けました。着任直後のフアアマオ参事官と一緒に降りしきる雨の中、グローバルフェスタ会場で募金集めをし、多くの方々からの善意を頂戴しました。後日大使館へその善意をお届けした際、大使からは感謝の言葉と共にサモアの復興に役立つとの力強いお話しがありました。その後、2010年1月、正式に大使館が開設されますが、それまで設立に当たって東奔西走されていきました。大使館が開設されると我OB会とのつ

ながりも徐々に深まり、レセプションなどの招待や会報への寄稿、グローバルフェスタへの激励、新隊員壮行会への参加等などたくさんのご協力を頂きました。そして特に思い出深いのが2011年の東日本大震災です。未曾有の被害を受けた東北をサモアはどの国よりも早く支援の手を差し伸べてくれました。そしてサモアコミュニティと共に被災して打ちひしがれている方々への慰問。大使館からの支援助物の支給、そしてここで練り広げられたテイネによる心やしい優雅な踊り、それに加えタマの力強い踊りが避難している人々の心を和ましたことは言うまでもありません。会場には常夏のサモアのそよ風が吹き、サモア人と被災者が一緒になってシバを踊り、最後は抱き合っていたこと今も心に残っています。国は違ってもまさに心が通じた瞬間だと思っています。

ここからは大使のお人柄などを少しご紹介します。昨年のレセプションの際にOB会への貢献ということで感謝状を送らせていただきました。意外とご本人はお気に召したようで自室に飾りご満悦だったと伺っています。また大使館主催のパーティーがあると大使館や自宅の大家さんをご招待していたようです。

律義で義理人情に熱い方。因みに日本へ赴任する前には中国と日本の選択肢があり、迷わず日本を選んだそうです。今後ですがMDG、sの関係の仕事を少しするようなおっしゃっていました。また大使はダブルドクターを有している勉強家です。機会があれば東京大学のフェローも良いなども冗談交じりにおっしゃっていました。



サモア大使館での送別会

過去、何度も何度も大使の帰国についての話があったので正直今回が本当の本当になるとは思っています。大使、私たちはあなたのことを忘れません。あなたが日本に蒔いた両国の友好の種を我々は大事に育てていきます。これまでのことOB会を代表してお礼申し上げます。約6年間本当にありがとうございます。お元気で！

編集後記

役員の方皆さん仕事を抱えての中、ありがとうございました。色々大変だったと思いますがこれからも宜しくお願いします。



OB会創設20周年を迎えた今年度は、例年になくOB会活動に時間を費やした思い出に残る一年でした。個人的には制作に携わったオリジナルカレンダーがとても印象的です。OBの皆さんの要望があれば今後もカレンダー作成は継続したいと思います。
【木村竜輔 平成21年2次隊 理数科教師】

本年度は20周年ということで通常の事業に加え周年事業も行った忙しい年でした。ただ多くの方は帰国されてもサモアのことを想い続けていることが実感できた年で来年度のエネルギーになりました。
【大塚一雄 昭和63年3次隊 SE】

早いもので、4月でサモアに足を踏み入れて20年にもなります。現在訓練所の同期で20周年記念同窓会を行おうと企画中です。20年振りの再開が楽しみです。協力隊を通して多くの人々に出会えて誠に充実した20年でありました。【清水幹雄 平成6年3次隊 数学教師】

サモアで同時期に活動した隊員で立ち上げたOB会も、発足20周年を迎えることが出来ました。これも会員の皆様の多大なるご支援、ご協力の賜物と大変感謝しております。更なる飛躍の時期を迎えたかも知れません。【新井克芳 昭和63年1次隊 電話交換機】

夫婦でサモアOB会に関わらせて頂き、早2年が経とうとしています。地方にいるためイベントにはなかなか参加できませんが、今は記念誌作成のお手伝いをさせて頂いています。帰国後もサモアの話のできる人が身近にいることに幸せを感じながら、これからも微力ながら活動に参加させて頂きたいと思っています。
【板垣曉歩 平成21年4次隊（理数科教師）】
【板垣佐和子 平成23年1次隊（小学校教諭）】

サモア関係者各位

平成 27 年 4 月吉日
青年海外協力隊サモア OB 会
会長 大塚 一雄

第 15 号会報「Manuia」の発行のお知らせ及び

H27 年度 OB 会費納入のお願い

拝啓

陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

本年度、当 OB 会は設立 20 周年を迎えました。このため通常のグローバルフェスタや壮行会に加え、周年事業としてサモア大使館との共同レセプション開催や記念カレンダーの作成を実施しました（記念誌は現在作成中です）。今回の会報はこれら事業が満載の内容になっています。是非ご堪能いただければと存じます。

この機会を捉えてひとつ OB 会からお願いがございます。現在、OB 会の活動は全てボランティアで行っております。しかしながら、会を運営するに当たりましては、少なからず費用が必要となります。このため当 OB 会では従来から会費制を採用しております。

つきましては、当 OB 会の趣旨及び活動にご賛同頂ける場合は以下の OB 会口座に年会費（2,000 円）をお振込み頂ければ幸いに存じます。ご不明な点などがございましたら samoa_fafetai@yahoo.co.jp へご連絡下さい。なお、年会費を納入された方には「オリジナルサモア OB 会カレンダー（2016 年）」を無料でプレゼントさせていただきます。発送は本年暮を予定しております。

敬具

・振込先口座

金融機関：ゆうちょ銀行 支店名：なし 口座種類：普通

口座番号：00150-9-544721 口座名義：セイネンカイガイキヨウリヨクタイサモアオービーカイ

・サモア OB 会とは (<http://www.fafetai.net/>)

当初 JOCV の OB・OG を中心に、その経験を生かしてサモアと日本の親善に寄与し、会員相互の親睦を図る目的で、1994 年に設立された組織です。当初サモア関係者は 200 名程度でありましたが、現在では JOCV、SV、専門家、JICA 元所長・駐在員、JOCV 調整員などを含め 500 人を超える大所帯になりました。

・サモアメーリングリスト

サア ML へ登録ご希望の方は次のアドレス(<http://fafetai.net/mailman/listinfo/vailima-fafetai.net>)から登録が出来ます。経費削減及び迅速な情報伝達のため是非ご登録下さい。手続きが不明な場合は samoa@fafetai.net へお問い合わせ下さい。)

以 上